

盛岡バッハ・カンタータ・フェライン演奏会

珠玉のカンタータ ～バッハからの贈り物～

プロフィール

小原育世（ソプラノ）

岩手大学教育学部音楽科卒業、同大学院教育学研究科音楽教育専修修了。佐々木正利、佐々木まり子の各氏に師事。

田村いづみ（ソプラノ）

岩手大学大学院教育学研究科教科教育専攻音楽教育専修修了。声楽を佐々木正利氏に師事。現在オープン化粧品(株)勤務。

村元彩夏（ソプラノ）

岩手大学卒業。東京芸術大学音楽学部声楽科を経て、現在同大学院独唱科1年在学中。声楽を佐々木正利、朝倉蒼生の各氏に師事。東京21合唱団に所属。

中野和子（アルト）

岩手大学卒業。東京芸術大学大学院修了。2004年パーゼル音楽院にてコンサートディプロム取得。07年スコラカントルムバジリエンスにてルネサンス・バロック専攻修了、傑出した歌手であるとの評価を受ける。

谷地敏晶子（アルト）

岩手大学卒業。東京芸術大学音楽学部声楽科を経て、現在同大学院独唱科修士課程在籍。

及川豊（テノール）

声楽を故志田久子、佐々木正利の各氏に師事。中世、ルネサンス、バロック音楽の歌手として活躍中。

鏡貴之（テノール）

盛岡第三高校、岩手大学卒業。東京芸術大学大学院修了。声楽を佐々木まり子、佐々木正利、多田羅迪夫の各氏に師事。

西野真史（テノール）

岩手大学教育学部芸術文化課程音楽コース卒業。声楽を佐々木まり子、佐々木正利、多田羅迪夫の各氏に師事。

阿部学（バス）

岩手大学教育学部中学校教員養成課程英語科卒業。グルッペ・ベッヒライン会員。岩手県立高田高等学校教諭。

小原一穂（バス）

東京学芸大学大学院修士課程修了。森肇子、今関由紀子、移川澄也、中村義春、佐々木正利の各氏に師事。

佐々木直樹（バス）

岩手大学卒業。東京芸術大学大学院修了。03～06年、岩手大学教育学部非常勤講師。島根大学教育学部講師。

佐藤和久（バス）

日本大学文理学部社会学科卒。声楽を宮原卓也氏、佐々木正利氏に師事。岩手県立盛岡第三高等学校教諭。

千田敬之（バス）

水沢高等学校卒業、岩手大学大学院教育学研究科教科教育専攻音楽教育専修修了。声楽を佐々木正利氏に師事。

声楽ソリストは全て盛岡バッハ・カンタータ・フェライン会員

東京バッハ・カンタータ・アンサンブル（管弦楽）

東京芸術大学の学内サークルとして活動しているクラブ「東京芸術大学バッハカンタータクラブ」のOBを中心に結成された器楽アンサンブル。ウェルナー・ヤコブ、ヘルムート・リリング、ハンス・ヨアヒム・ロッチュ、小林道夫、佐々木正利等、内外の著名な指揮者、演奏家、また国内の数多くの合唱団と共演するなど、バッハやヘンデルを中心としたオラトリオ、カンタータ、受難曲等の演奏を活発に行い、高い評価を得ている。

蒲生克郷（コンサートマスター）

東京芸術大学卒業。1976～78年渡独。ヒルデスハイム室内管弦楽団コンサートマスター等を務める傍ら、ヴェルツブルク音楽大学にて研鑽を積む。帰国後は憩弦楽四重奏団、久田緑弦楽四重奏団などで活躍する。現在、東京芸術大学管弦楽研究部講師、及び同部（芸大フィルハーモニア）コンサートマスター、エルデーディ弦楽四重奏団第1ヴァイオリン奏者、アンサンブル of トウキョウメンバー。多久興、海野義雄、ボリス・ゴールドシュタインの各氏に師事。

盛岡バッハ・カンタータ・フェライン（合唱）

1977年「カンタータを歌う会」として発足。以来、一貫してJ.S.バッハの作品を中心としたドイツ・バロック合唱曲の研究、演奏を行っている。指揮者、佐々木正利のドイツ・バロック音楽に対する卓越した見識に基づく、熱意溢れる指導の積み重ねによりヴィンシャーマン、ロッチュ、マズア、岩城宏之等世界的指揮者との共演を重ね、ドイツ・バロック音楽を音楽的かつ人間的に表現できる合唱団として、高い評価を得るようになった。昨年盛岡で開催された、創立30周年記念「ヨハネ受難曲演奏会」は絶賛を浴びた。

ロソロ、デュオコンサート等で活動。フランス、ドイツ公演など海外でも演奏を行なう。CD「VIRTUOSI ITALIANI E BACH」リリース。盛岡大学短期大学部准教授。盛岡バッハ・カンタータ・フェライン伴奏者。グルッペ・ベッヒライン副会長。

佐々木正利（指揮）

東京芸術大学声楽科卒業。同大学院修士課程及び博士後期課程修了。1979年シュトゥットガルトに渡り、82年までデットモルト北西ドイツ音楽大学に学ぶ。宗教音楽を専門とし、日本を代表する「バッハ演奏家」として、85年のザルツブルク音楽祭をはじめ、内外で福音史家、テノール・ソロを務めて絶賛されている。合唱指揮者としても、盛岡バッハ・カンタータ・フェライン、岩手大学合唱団などで指揮者を務め、実績をあげている。傘下の合唱団を率いてドイツなどで行った演奏会は、高く評価されている。岩手大学教育学部音楽科教授。二期会会員。日本声楽発声学会理事。日本音楽表現学会理事。

劔持清之（オルガン）

国立音楽大学卒業。チェンバロを西川清子、水野均、岡田龍之介の各氏に師事。各地の演奏会に出演しバロック奏者との共演や、佐々木正利氏、岩城宏之氏、H.J.ロッチュ氏、H.ヴィンシャーマン氏指揮のバッハ「カンタータ」「口短調ミサ曲」「ヨハネ受難曲」「マニフィカート」等の通奏低音で、アンサンブル経験を深める一方チェンバ